



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 協同飼料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2052 URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 泰正
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 青山 徹 (TEL) 045-461-5711
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	60,201	△7.1	499	△49.2	466	△50.6	101	△58.0
24年3月期第2四半期	64,836	15.4	983	66.4	943	111.2	241	49.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △75百万円(—%) 24年3月期第2四半期 270百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.02	—
24年3月期第2四半期	2.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	46,942	11,420	24.3
24年3月期	47,765	11,797	24.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,416百万円 24年3月期 11,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,000	△0.1	1,400	84.6	1,300	535.8	600	—	6.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	103,995,636株	24年3月期	103,995,636株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	5,201,064株	24年3月期	5,199,946株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期2Q	98,794,886株	24年3月期2Q	98,796,238株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）のわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな持ち直し基調となりましたが、欧州債務危機が長期化していることや中国等の新興国の景気に減速感が出始めるなど不安定な状況で推移しております。

飼料畜産業界におきましては、主原料であるとうもろこしが米国において記録的な大干ばつに見舞われ収穫量が大幅に減少したほか、投機資金の流入などにより穀物相場は急激に高騰しました。一方、海上運賃は新興国の成長率の鈍化傾向に伴い小幅な値動きとなっております。

畜産物市況は、出荷頭数の増加などから豚肉相場は前年同期を下回り、鶏卵相場も前年同期を下回りました。なお、牛肉相場は前年同期に比べ若干持ち直しております。

こうした環境にあつて当社グループの配合飼料の販売数量はほぼ前年同期並みでありました。しかしながら、配合飼料販売価格を本年4月と7月に値上げしたものの前年の下期に行った2度の値下げにより製品のトン当たり平均価格が前年同期を下回ったことや、畜産物相場の低迷などの影響から、売上高は602億1百万円（前年同期比7.1%減）となりました。営業利益は配合飼料価格安定基金負担金の増加等により4億9千9百万円（前年同期比49.2%減）となり、経常利益も4億6千6百万円（前年同期比50.6%減）となりました。また当四半期純利益は1億1百万円（前年同期比58.0%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりです。

飼料事業

飼料事業では、配合飼料の販売数量は前年同期並みでありましたが、配合飼料販売価格を当第2四半期連結累計期間において値上げしたものの前年の下期に行った2度の値下げにより製品のトン当たり平均価格が前年同期を下回ったことから、売上高は417億9千2百万円（前年同期比5.6%減）となりました。営業利益は配合飼料価格安定基金の負担金増加などにより10億5千7百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

畜産物事業

畜産物事業では、消費者の低価格志向などから畜産物相場が低迷し、売上高は184億9百万円（前年同期比10.5%減）となり、営業利益は2千5百万円（前年同期比84.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態を前期末と比べますと、資産につきましては棚卸資産の減少や投資有価証券の評価減などにより、合計は469億4千2百万円（前期末比1.7%減）となり、8億2千2百万円減少しました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少などにより合計は355億2千1百万円（前期末比1.2%減）となり、4億4千6百万円減少しました。

また、純資産につきましては、配当金の支払いによる資本剰余金の減少などにより合計は114億2千万円（前期末比3.2%減）となり、3億7千6百万円減少しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3億1千5百万円及び減価償却費4億1千3百万円などにより、仕入債務の減少などがあつたものの、6千5百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出3億1千7百万円などにより、1億9千9百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加8億9百万円などにより、4億8千6百万円の収入となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は17億6千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想は平成24年10月23日に公表したとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、従来有形固定資産の減価償却方法については、主に定率法を採用(平成10年4月1日以降に取得した建物は定額法)しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この変更は、当社グループの有形固定資産の使用実態を見直した結果、長期的かつ安定的に使用される資産が大部分を占め、また新規設備投資が一段落し維持・更新の投資が中心となり、今後は安定的な製造が見込まれる状況になったことなどから、減価償却費の期間配分を平準化できる定額法がより経営の実態にあった業績を表すと判断したために行ったものであります。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は89百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ113百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,459	1,812
受取手形及び売掛金	21,218	21,778
商品及び製品	647	652
仕掛品	487	483
原材料及び貯蔵品	4,260	3,618
繰延税金資産	64	80
短期貸付金	277	224
その他	1,265	1,175
貸倒引当金	△32	△32
流動資産合計	29,649	29,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,828	2,860
機械装置及び運搬具(純額)	2,191	2,215
土地	3,577	3,340
建設仮勘定	30	26
その他(純額)	390	407
有形固定資産合計	9,018	8,849
無形固定資産		
その他	853	804
無形固定資産合計	853	804
投資その他の資産		
投資有価証券	4,268	3,983
長期貸付金	1,656	1,641
長期未収入金	1,455	1,451
破産更生債権等	349	158
繰延税金資産	2,641	2,738
その他	597	568
貸倒引当金	△2,725	△3,048
投資その他の資産合計	8,244	7,493
固定資産合計	18,116	17,148
資産合計	47,765	46,942

協同飼料(株)(2052) 平成25年3月期第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,438	13,361
短期借入金	7,524	7,563
未払法人税等	195	262
賞与引当金	323	330
その他	2,960	2,808
流動負債合計	25,442	24,326
固定負債		
長期借入金	8,606	9,376
退職給付引当金	1,297	1,246
役員退職慰労引当金	145	125
資産除去債務	272	272
その他	204	173
固定負債合計	10,525	11,195
負債合計	35,968	35,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,749
利益剰余金	2,269	2,268
自己株式	△523	△524
株主資本合計	11,893	11,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△98	△272
繰延ヘッジ損益	△0	△4
その他の包括利益累計額合計	△99	△276
少数株主持分	3	4
純資産合計	11,797	11,420
負債純資産合計	47,765	46,942

協同飼料(株)(2052) 平成25年3月期第2四半期決算短信

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	64,836	60,201
売上原価	58,335	53,720
売上総利益	6,501	6,481
販売費及び一般管理費	5,517	5,982
営業利益	983	499
営業外収益		
受取利息及び配当金	46	52
持分法による投資利益	41	—
その他	113	187
営業外収益合計	201	240
営業外費用		
支払利息	130	132
持分法による投資損失	—	54
その他	111	86
営業外費用合計	241	273
経常利益	943	466
特別利益		
固定資産処分益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産評価損	96	158
災害による損失	251	—
投資有価証券評価損	159	—
特別損失合計	507	158
税金等調整前四半期純利益	435	315
法人税等	194	213
少数株主損益調整前四半期純利益	241	101
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益	241	101

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	241	101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	△175
繰延ヘッジ損益	△5	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	29	△177
四半期包括利益	270	△75
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270	△76
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

協同飼料(株)(2052) 平成25年3月期第2四半期決算短信

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	435	315
減価償却費	580	413
引当金の増減額 (△は減少)	64	260
持分法による投資損益 (△は益)	△41	54
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,719	△572
たな卸資産の増減額 (△は増加)	246	641
仕入債務の増減額 (△は減少)	471	△1,077
法人税等の支払額	△32	△146
その他	△541	175
営業活動によるキャッシュ・フロー	△537	65
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△390	△317
有形及び無形固定資産の売却による収入	5	94
投資有価証券の取得による支出	△7	△44
投資有価証券の売却による収入	0	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	74	0
長期貸付けによる支出	△4	△4
長期貸付金の回収による収入	80	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,767	△100
長期借入れによる収入	1,300	2,450
長期借入金の返済による支出	△1,791	△1,540
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△295	△297
その他	△40	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	938	486
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	159	353
現金及び現金同等物の期首残高	411	1,416
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	46	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	617	1,769

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	44,276	20,559	64,836	—	64,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37	—	37	△37	—
計	44,313	20,559	64,873	△37	64,836
セグメント利益	1,332	161	1,493	△510	983

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額△510百万円には、セグメント間の取引消去3百万円及び配賦不能営業費用△514百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社総務等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,792	18,409	60,201	—	60,201
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	—	30	△30	—
計	41,822	18,409	60,232	△30	60,201
セグメント利益	1,057	25	1,082	△583	499

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額△583百万円には、セグメント間の取引消去0百万円及び配賦不能営業費用△583百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社総務等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、従来定率法を採用していた有形固定資産の減価償却の方法を定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の飼料事業セグメント利益が77百万円増加し、畜産物セグメント利益が8百万円増加しております。また、「調整額」に含まれる各報告セグメントに配分していない全社費用が3百万円減少しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。